



チャレンジ! グリーン活動

生物保護コース

多度津町立四箇小学校
4年団

四箇小学校の中庭には、水が流れるビオトープがあります。中心となって活動するのは、4年生の56名です。4年生はビオトープの動植物の観察をしたり、草抜きや掃除をしたりしています。また、「水辺の教室」での水生生物の観察を通して四箇校区の川の水質を調べています。

目標

「花と笑顔と親切いっぱい四箇小学校」のキャッチフレーズのもと、身近な自然と触れあい観察することで、自然を大切にしようとする態度を養い、地域の自然の大切さを発信する。

指標

四箇小学校のビオトープに生息する動植物を観察したり、地域の河川の水質調査をしたりした結果を、学校・学年だよりを通じて地域や家庭に情報発信して、保護者のビオトープについて知っている人の割合を90%以上にする。

活動の様子

1 ビオトープでの活動

ビオトープの植物について観察するものを決めて、季節ごとに変化を調べた。また、植物や生物の種類や特徴、生態など、調べたことをタブレットを使って発表し、興味をもってもらえるように取り組んだ。



春の桜の様子は、花が咲いていたよ。花びらの形はハート形だね。指先から第一関節ぐらいまでの大きさだよ。夏や冬になるとどうなるのだろう。

ビオトープには、こんな生物がいました。さて、この生物の性別はどうやって見分けるでしょう。



2 「水辺の教室」での活動

校区内を流れる弘田川に行き、町の住民環境課の方に教えていただきながら、川に生息している水生生物の種類から水質を調べたり、CODパックテストをしたりして、川の環境を守ることの大切さを学んだ。



川に住んでいる生き物を調べたり、パックテストをしたりしたよ。ゴミがたくさん落ちていて、思ったより水が汚れていたな。私達も気を付けたいね。

浄水場の仕組みや、私たちが利用している水のゆくえが分かったよ。水のきれいさは、生物にも影響があるんだね。



<本年度、工夫できた点・挑戦できた点>

- ・ビオトープでの調べ学習では、みんなが興味をもてるように発表を意識して取り組んだ。そのことで、相手意識をもって調べたり、夏季休業中に自由研究でさらにくわしく調べようとしていたりするなど、環境に関心をもつことができるようになった。
- ・「水辺の教室」と社会の「水の行方」の学習を関係付けることによって、水を節約することや、台所にしょう油、油などを流さないことなど、自分たちにできることを考えた。

目標の達成度

ビオトープでの発表会では、友だちが興味を引く豆知識を踏まえて発表したことで、自分が調べたこと以外にも興味をもったり、帰って家の人に話したりすることができた。

「水辺の教室」と社会科の「水のゆくえ」の単元を関連付けて学習したことによって、水を大切にするために自分ができることを考え、家で実践をし始めたという声を多く聞くことができた。